

科 目	単位（時間）	担当者	授業時期
看護学概論	1 単位 (30 時間)	和田 光子 (臨床経験 12 年)	1 年前期
【学習目標】 看護学全般の概念をとらえ、社会における看護の位置づけと役割の重要性を認識する さらにこれから先に学ぶ各看護学や看護実践の基盤となる基礎的知識を理解する 授業をとおして「看護とは何か、専門職としてのあり方」を考え、自己研鑽への導入とする 【授業の進め方】 講義、グループワーク 【授業スケジュール】 1 看護を学ぶにあたって 今の私が考える看護とは 2 第 1 章 看護とは 3 // 4 // 5 第 2 章 看護の対象の理解 6 // 7 第 3 章 国民の健康状態と生活 8 第 4 章 看護の提供者 9 第 5 章 看護における倫理 10 // 11 第 6 章 看護の提供のしくみ 12 // 13 看護を学ぶにあたって 今の私が考える看護とは 14 // 15 試験 【教科書】 系看 専門分野 I 基礎看護学〔1〕 看護学概論 医学書院 【参考書】 看護覚え書 F. ナイチンゲール 現代社 看護の基本となるもの V. ヘンダーソン 看護協会出版会 臨床看護の本質 A. ウィーデンバック 現代社 よくわかる看護者の倫理綱領 照林社 【評価方法】 筆記試験（70%）、リフレクションペーパー・課題・レポート（30%）			

科 目	単位（時間）	担当者	授業時期
看護理論	1 単位 (15 時間)	青木 佐知子 (臨床経験 20 年)	1 年後期
【学習目標】 看護理論とは何かについて述べることができる 看護理論の分類、歴史的変遷について説明できる 看護理論の看護実践への活用法について理解できる 【授業の進め方】 講義、グループワーク、個人ワーク 【授業スケジュール】 1 看護理論概説① 理論とは、理論の役割、理論の分類 2 看護理論概説② 看護発展の歴史、理論家紹介 3 ナイチンゲールの看護理論 基礎看護学実習Ⅰの体験発表会 「看護とは」についてグループワーク 4 ヘンダーソンの看護理論 5 グループワーク（１） 事例で学ぶヘンダーソンの看護理論 6 グループワーク（２） ヘンダーソンの看護理論を事例で展開 7 理論の看護実践への活用 「危機理論」「危機問題解決モデル」で事例展開 8 試験 【教科書】 系看 看護学概論 基礎看護学① 医学書院 看護覚え書 F・ナイチンゲール 現代社 看護の基本となるもの V・ヘンダーソン 日本看護協会出版会 【参考書】 看護がみえる④ 看護過程の展開 メディックメディア 中範囲理論入門 佐藤栄子 日総研出版 【評価方法】 課題提出（20%） グループワークへの参加態度（10%） 筆記試験（70%）			

科 目	単 位（時間）	担当者	授業時期
コミュニケーション技術	1 単位 (30 時間)	三井 洋子 (保健師)	1 年後期
【学習目標】 1 基本的な相互作用とコミュニケーションの意義を理解し、効果的なコミュニケーションのための態度・知識・技術を習得する 2 医療におけるコミュニケーションについて考え、その特徴を理解し、実践するための態度・知識・技術を習得する 3 看護における学習支援の目的と説明や指導、面談の技術を学ぶ 【授業の進め方】 講義だけでなく、演習・体験を組み合わせた学習とする。事例、ロールプレイ 毎回自分自身が気づいたことを整理するために振り返りの時間を持つ。 【授業スケジュール】 1 コミュニケーションの基本（距離、位置、態度） 2 信頼関係を作るスキル 3 傾聴① 4 セルフケア① 5 セルフケア② 6 傾聴② 7 アサーション① 8 アサーション② 9 人格適応論① 10 人格適応論② 11 事実と解釈の違いを整理する 12 学習支援とは（ティーチングとコーチング） 13 受け止める、状況確認の質問と情報を伝える 14 受け止める、本人が答えを探す質問をする 15 試験、課題レポート 【教科書】 系看 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔2〕 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 【参考書】 【評価方法】 記録課題レポート（50%）、筆記試験（50%）			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
基礎看護技術 I	1 単位 (30 時間)	早川 真実 (臨床経験 13 年)	1 年前期
【学習目標】 感染を予防するための基本的な知識・技術を習得する 看護の対象の生活環境を整える目的を理解し、その方法を習得する 【授業の進め方】 講義、演習、課題学習 【授業スケジュール】 1 基礎看護技術ガイダンス 感染予防の基礎知識 2 感染予防のための援助技術 スタンダードプリコーション・感染経路別予防策・感染性廃棄物の取り扱い 3 感染防止のための援助技術 洗浄・消毒・滅菌、無菌操作、院内感染 4 感染防止のための援助技術 事例（グループワーク） 5 演習 手洗い、滅菌手袋の装着、ガウン装脱着、滅菌物の取り扱い、清潔操作 6 // 7 療養環境整備の意義と実際 8 療養環境整備技術 9 演習 ベッドメイキング 10 // 11 // 12 // 13 技術テスト ベッドメイキング 14 // 15 試験 【教科書】 系看 専門分野 I 基礎看護学 [2] [3] 基礎看護技術 I・II 医学書院 看護が見える ①基礎看護技術 メディックメディア 【参考書】 【評価方法】 筆記試験（80 点）、技術テスト（20 点）			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
基礎看護技術Ⅱ	1 単位 (20 時間)	望月 直美 (臨床経験 19 年)	1 年前期
【学習目標】 1 生活における活動と休息の意義とメカニズムを理解し、必要な援助技術を修得する 2 活動制限の影響を知り、その援助について学ぶ 3 睡眠と睡眠障害について理解し、その具体的援助方法を学ぶ 【授業の進め方】 講義 演習 【授業スケジュール】 1 日常生活と健康、人体の生体リズム 2 基本的活動の基礎知識 姿勢 良い姿勢 活動 3 体位 ボディメカニクス、基本的体位変換の援助 4 演習「基本的体位変換の援助」 5 // 6 歩行援助の基礎知識 移乗・移送援助の基礎知識 演習事前オリエンテーション 7 演習「移乗・移送の援助」 8 // 9 睡眠・休息の援助 10 試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学選書 基礎科目 物理学 メヂカルフレンド社 看護がみえる ①基礎看護技術 メディックメディア 【参考書】 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
基礎看護技術Ⅲ	1 単位 (30 時間)	松沢 土子 (臨床経験 26 年)	1 年全期
【学習目標】 1. 人間にとっての食事・栄養及び排泄の意義と消化・吸収及び排泄のメカニズムを理解し、食事と栄養のニーズを充足するために必要な援助技術を習得する。 2. 排泄の意義とメカニズム、援助を受ける患者の心理を理解し、ニーズを充足するために必要な援助技術を習得する。 【授業の進め方】 講義・演習・課題レポート 【授業スケジュール】 1 食事・栄養の基礎的知識 ①食事・栄養の意義 ②機能 ③栄養のアセスメント 2 食事の援助 ①食事を妨げる因子 ②環境調整 ③嚥下のメカニズム ④消化・吸収 ⑤食事援助時の倫理的配慮 3 疾病時の食事 ①食事の種類 ②食事介助の方法 4 食事の援助 ①食事介助の実際 ②演習について 5 演習 食事介助 6 // 7 非経口栄養法 ①経管栄養 ②経静脈栄養 8 排泄の基礎知識 ①排泄の意義 ②排泄のメカニズム ③排泄の観察・アセスメント 9 自然排便の援助 ①援助方法（尿器・便器・ポータブルトイレ） 10 演習 床上排泄 11 おむつ交換、陰部洗浄 12 演習（演習の説明、デモンストレーション、物品の説明など） 13 演習 おむつ交換・陰部洗浄 14 // 15 試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野 1 基礎看護学〔3〕 —基礎看護技術Ⅱ— 医学書院 【参考書】 看護がみえる 1. 基礎看護技術 メディックメディア 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
基礎看護技術Ⅳ	2 単位 (45 時間)	益満 恵美子 (臨床経験 9 年)	1 年全期
【学習目標】 患者の自然治癒力を高め、健康の回復と自立に向かえるよう、相手の状況に十分配慮して安全・安楽に清潔援助を行うことができる 【授業の進め方】 講義、演習、グループワーク 【授業スケジュール】 1 清潔の意義と看護師の役割、清潔援助に必要な援助知識 2 清潔援助に必要な観察の視点・アセスメントを理解する 3 入浴・シャワー浴の意義と援助方法、部分浴の意義と援助方法 4 部分浴援助の実際 5 足浴・爪切り（演習） 6 // 7 全身清拭の意義と援助方法 8 全身清拭 患者の気持ちを考えた援助 9 全身清拭の援助の実際 10 衣生活の知識の修得 11 寝衣交換援助の実際 12 全身清拭・寝衣交換のポイント 13 全身清拭・寝衣交換（演習） 14 // 15 洗髪の意義と援助方法 16 洗髪援助の実際 17 洗髪（演習） 18 // 19 口腔ケアの意義と援助方法、洗面・口腔ケアの実際 20 口腔ケア（演習） 21 // 22 技術試験 23 筆記試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学〔3〕 ―基礎看護技術Ⅱ― 医学書院 【参考書】 看護がみえる 1. 基礎看護技術 メディックメディア 【評価方法】 筆記試験（50 点）、技術試験（50 点）			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
フィジカルアセスメントⅠ	1 単位 (30 時間)	町田 久美 (臨床経験 5 年)	1 年前期
【学習目標】 健康状態を把握するためのバイタルサイン測定や身体計測の必要性を理解し、根拠に基づいた正確な観察技術を習得する 【授業の進め方】 講義、演習、技術試験 【授業スケジュール】 1 フィジカルアセスメントとは、バイタルサインとは 2 生命を維持する機能の観察（体温） 3 生命を維持する機能の観察（脈拍） 4 生命を維持する機能の観察（呼吸・経皮的動脈血酸素飽和度） 5 生命を維持する機能の観察（血圧） 6 生命を維持する機能の観察（血圧） 7 報告・記録の方法 8 演習 バイタルサイン測定の実際 9 〃 10 身体計測（身長、体重、視力、腹囲） 11 演習 身体計測の実際 12 〃 13 技術試験 バイタルサイン測定の実際 14 〃 15 筆記試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院 看護がみえる③ フィジカルアセスメント メディックメディア 【参考書】 【評価方法】 筆記試験（50％）、技術試験（50％）			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
臨床看護総論	1 単位 (30 時間)	轟 敦子 (保健師 14 年 臨床経験 8 年)	1 年後期

【学習目標】

臨床看護の特徴とその対象者、臨床看護の基本的構成要素を知り、看護に臨む姿勢について理解する。また、臨床看護の基本的構成要素の中から主な症状と経過別に関する看護を理解する。

【授業の進め方】

講義、グループワーク、演習

【授業スケジュール】

1 臨床看護総論とは 看護師の役割 看護師の臨床判断プロセス

<症状別看護>

2 発熱がある患者の看護、疼痛のある患者の看護

3 呼吸困難のある患者の看護

4 意識障害のある患者の看護

5 浮腫のある患者の看護

6 冷温罨法（演習）

<治療別看護—主な治療の種類と方法>

7 薬物療法

8 安静療法

9 食事療法

<患者の経過段階と看護>

10 経過別看護とは

11 急性期看護

12 回復期・リハビリテーション期看護

13 慢性期看護

14 終末期看護

15 試験

【教科書】

新体系看護学全書 基礎看護学④ 臨床看護総論 メヂカルフレンド社

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 医学書院

系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 医学書院

系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進② 病態生理学 医学書院

【評価方法】

筆記試験

科 目	単 位 (時間)	担 当 者	授業時期
看護過程 I	1 単位 (30 時間)	和田 光子 (臨床経験 12 年)	1 年後期
【学習目標】 看護を科学的に実践するために必要な看護過程展開の方法を理解する 看護の展開ができる思考過程を学ぶ 【授業の進め方】 講義、グループワーク 【授業スケジュール】 1 看護過程とは 2 看護過程の土台となる考え方・気づきにトライ 3 看護過程を展開する際に基盤となる考え方 ①問題解決課程 ②クリティカルシンキング ③倫理的配慮と価値判断 4 ④リフレクション (リフレクションとは) ④ 〃 (自己の価値観を知る) 5 ④ 〃 (他者の価値観を知る) 6 看護過程の各段階 7 ①アセスメント (情報の収集と分析) 8 〃 9 ②看護問題の明確化 10 〃 11 ③看護計画 12 〃 13 ④実施 14 ⑤評価 15 試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野 I 基礎看護技術 I 医学書院 【参考書】 看護過程学習ガイド 学研 【評価方法】 筆記試験 (70 点)、授業への取り組み (30 点)			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
地域・社会学演習	1 単位 (20 時間)	宮本 千絵 (臨床経験 12 年)	1 年前期
【学習目標】 須坂市及び近隣地域の特徴を知ると共に、地域で生活する人々の暮らしを理解する。また、地域の環境が人々の暮らしにどのような影響を与えているか考える 【授業の進め方】 講義、グループワーク、フィールド調査 【授業スケジュール】 1 地域について（課題発表） 2 } 須坂市生涯学習まちづくり 出前講座 3 } ・須坂市の商業（商業観光課） ・数字で見る須坂市（政策推進課） 4 } ・災害に備えて（総務課） 5 フィールド調査計画書作成及びフィールド調査 6 // 7 発表会準備 8 // 9 発表 10 // 【教科書】 なし 【参考書】 適宜、提示・紹介する 【評価方法】 課題提出、レポート 【その他】 夏季休暇中にフィールド調査			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
成人看護学概論	1 単位 (30 時間)	青木 佐知子 (臨床経験 20 年)	1 年全期
【学習目標】 成人期にある対象と健康問題の特徴を理解する。成人期にある対象の理解と看護を展開するために必要な概念や理論について理解する。 【授業の進め方】 講義、個人ワーク、グループワーク 【授業スケジュール】 1 成人であること、成人の生活と健康 2 各発達段階の特徴（青年期） 3 各発達段階の特徴（壮年期・中年期・向老期） 4 働いて生活を営むこと 5 成人を取り巻く環境と生活の状況 6 成人の健康の状況 7 保健・医療・福祉システム 8 成人への看護アプローチの基本 9 健康をおびやかす要因と看護（ストレス） 10 ヘルスプロモーションと看護 11 急性期にある人の看護（危機理論） 12 慢性病との共存を支える看護（病みの軌跡） 13 〃 （セルフケア、自己効力） 14 障害のある人の生活とリハビリテーション（障害受容） 15 試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 医学書院 【参考書】 【評価方法】 筆記試験、レポート			

科 目	単位（時間）	担当者	授業時期
老年看護学概論	1 単位 (30 時間)	松沢 土子 (臨床経験 26 年)	1 年後期
【学習目標】 老年看護学の対象となる高齢者を、社会的存在の生活者として理解するために、身体的老化のみならず、その人の人生や影響を受けた社会変動、環境など多面的総合的に理解し、高齢者の健康と生活を支える基本的な考え方や姿勢を学ぶ。 【授業の進め方】 講義、演習 【授業スケジュール】 - I 老年期の身体的理解 1) ライフサイクルから見た老年期①老年期の定義 2) " ②老年期の課題 3) " ③加齢と老化 4 高齢者疑似体験（演習） - II 老年期の精神的理解 祖父母のライフヒストリー（課題演習） 6 老化とところ まとめ - III 老年期の社会的理解 1) 我が国の高齢化の現状 8 2) 高齢者の姿と取り巻く環境の現状と動向 ①高齢者と家族 9 " ②高齢者の健康と福祉 10 " ③高齢者の生活環境 11 3) 高齢者を支える制度 12 4) 高齢者を支える社会資源 5) 高齢者の人権と倫理問題 13 IV 老年看護の課題と展望 ①老年看護の役割・特徴 ②老年看護における理論の活用 14 まとめ「92 歳のパリジェンヌ」 15 試験 【教科書】 系統看護学講座：専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 国民衛生の動向：厚生統計協会 【参考書】 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
母性看護学概論	1 単位 (30 時間)	小林 康子 (大学講師)	1 年前期
【学習目標】 女性ライフサイクル全体を通して、性と生殖に関する健康の保持増進を目指す看護活動の基礎を学び、母性看護の特性を理解する セクシュアリティ、リプロダクティブヘルス・ライツの概念を理解すると共に、母性看護の対象となる人々への支援の考え方や重要性について学ぶ 【授業の進め方】 統計資料を用い世界の動向をふまえ、現代社会の状況を捉えた講義の展開と臨床症例を紹介しながらグループワークを行う 【授業スケジュール】 - 母性看護における学習の視点・母性とは - 母子関係と家族発達 母性の基礎となる理論 - 母性の基礎となる概念 - 母性看護のあり方 安全・事故予防 - 母性看護の変遷と現状（母子保健統計・法律・施策） - 母性看護の対象理解（性周期・女性のライフサイクルと家族・母性の発達） - 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護（思春期） - 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護（成熟期） - 女性のライフステージ各期の特徴・健康問題と看護（更年期・老年期） - リプロダクティブヘルスケア ①家族計画 ②性感染症とその予防 ③人工妊娠中絶とその看護 - リプロダクティブヘルスケア ④HIV に感染した女性に対する看護 ⑤性暴力を受けた女性に対する看護 - リプロダクティブヘルスケア ⑥喫煙女性に対する看護 ⑦虐待とその看護 ⑧国際化社会と看護 - 母性における倫理的問題 - 母性における倫理的問題 - 試験 【教科書】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 医学書院 【参考書】 国民衛生の動向 2022/2023 厚生労働統計協会出版社 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル 改定第3版 南江堂 我部山キヨ子他：臨床助産師必携、生命と文化を踏まえた支援 医学書院 2006 【評価方法】 リアクションシート（20％）筆記試験（70％）			